



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811 (代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：大野順道 ■幹事：金子親房
- 会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：穴戸清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

第32回例会

平成26年3月5日(水) サンパレス福島4階

■会員/73名 ■出席/47名 ■出席率/64.38% ■メイクアップ/26名 ■修正/73名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ローターソング 我等の生業
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者紹介と会長挨拶
- 5 誕生者お祝い
- 6 ロータリーの友 読みどころ
- 7 会員スピーチ 菅野良二会員
- 8 閉会点鐘

会員の広場

3/7 福島民友新聞 対談より

Jアラートとは

弾道ミサイル情報、大津波警報、緊急地震速報等の緊急情報を、人工衛星を用いて国(内閣官房・気象庁から消防庁を経由)から送信し、市区町村の防災行政無線や携帯メール、コミュニティFM等を自動起動させるもので、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

放送例

4月上旬より開始予定



菅原節子会員

◆会長あいさつ◆

大野 順道 会長



皆さん、こんにちは。3月初めての例会です。3月1日に福島成蹊高校の第65回卒業式に参加して参りました。卒業生代表の梅沢愛和さんの答辞の中で私たちは、東日本大震災の為、それぞれの中学校の制服で入学を迎えました。1ヶ月後に制服で通う事が出来たのが本当に嬉しく思い、普通にできる事の有難さを改めて感じました。そして、この不条理の中で人を思いやる優しい心とひとを支える強靱な心の持ち主となり社会に必要と

される人間になろうと結論に至りました。また、友人達の震災にめげずそれぞれの道に信念を持って励む姿に勇気づけられました。どんな状況でも力強く咲いて行きます。323名の卒業生と福島の卒業生にエールを贈りたいと思います。今月は、識字率向上月間です。本日は菅野良二会員にスピーチを御願い致しました。菅野会員は多くの奉仕活動をされていますがフィリピンに学校を建設する活動もあり識字率向上に係わる活動をされています。当クラブは、鍵盤ハーモニカをフィリピンの小学校に送ることやこの度の台風30号の義援金を贈る際にも橋渡しをして頂きました。先日、杉妻小学校にロータリー文庫を寄贈した折にピアノをフィリピンに送った写真が掲示されていました。又、フィリピンのタクロバンRCよりメールが届きまして義援金の用途について後程ご連絡させて頂きますとお礼のお手紙を頂きました。これで会長挨拶とさせて頂きます。

3月誕生お祝い 親睦活動委員会 鈴木光一委員長



穴戸英男会員 渡辺 勇 会員 穴戸清和会員
藤橋進一郎会員 高橋勇雄会員 佐藤守弘会員
一條浩孝会員 小柴幸夫会員 鈴木弘美会員

米山奨学会中間経過報告 伊藤絃一 委員長

今年度は、福島大学 江沛勲君を受け入れています。上期クラブ寄付金は738,000円になりました。昨年度、米山奨学寄付額で地区内1位のクラブでしたので引き続き皆様方のご協力お願い申し上げます。

ロータリーの友読みどころ 伊藤弘子 委員長

- 横組 すべての人たちに識字能力を P13
- 縦組 わが町そしてロータリー いわき市で被災した古民家を修復し地域を元気に P9
- 心の架け橋号贈呈 福島中央RC P32

国際奉仕活動について

菅野良二 会員 スピーチ



皆さん、こんにちはスピーチの機会を頂き感謝申し上げます。国際奉仕に関して19年前からフィリピンの方に我々20名のボランティアで1995年にフィリピンのルソン島フギアン村に学校を寄贈しようと言うことで1年目コンサート・バザー等を行い、益金を集めまして450万円、96年に小学校を造ることが出来ました。途上国の人達が手を差し伸べてあげることが、人間として当たり前のことでなかろうかと、私は思います。その3年後にベトナムのハノイ北西 68 ㎞ミエンバイ村には電気も通っていませんでした。貧困とか100年以上遅

れて、そして戦争で子供達の大勢が巻き込まれています。今回のウクライナの様子が気がかりで成りません。そのような情勢で弱者子供達が犠牲になる訳で、決して戦争はしてはならない。そのためには、教育の場を提供し教育の徹底。と私はいつも思っています。

去年一昨年、フィリピンに寄贈した小学校に福島大学のカラーズという14名のメンバーを引率して造った学校を表敬訪問して、ボールペン1000本・ぬいぐるみ200個をお持ち致しました。

子供達に喜んで頂きました。歓迎式典に参加しましたらリニアン市の市長さんから、「今の福島の現状を教えて下さい。」と言う話で市役所の議場に連れられ、「福島原発事故で福島県の人口が減って各地域に約13万人が避難しているのです。」と伝えると市長さんより福島市に義捐金を贈りたいという話がありました。

昨年度杉妻小学校より鍵盤ハーモニカ50台を頂き、フィリピンの小学校に贈る活動に福島大学のボランティアグループのご協力により6月に送りました。

11月8日台風30号でフィリピンのレーテ島は甚大な被害でした現地のタクロバンRCを通じ義援金を募り子供達のために何かしてあげたいという思いで、ジャーナリストの相原さんと現地に出向きました。



又、菅野会員は、中東の戦地ヨルダン・シリアにも支援物資を送る活動も展開しています。当クラブ丹治洋子会員、いわき市の上場衣類会社も冷え込む戦地の子供達の為に暖かい衣類1100着を贈りました。先方より子供達が暖かい衣類を着て喜んでいるお礼の写真が届きました。私たちは、少しでも愛を分かち合いたいと思い「シアラードチャリティーの会」という名前で活動しています。

映像 第一部は、子供達の教育環境整備活動
第二部は、レーテ島を襲った台風の爪痕

—編集後記—

愛・喜びは地球人の全財産だ 穴戸